

平成25年度
第2回

東淀川区医師会 がん対策セミナーの ご案内

胃がんは、現在でも肺がん、大腸がんとならび日本人のがん死亡の中で大きな割合を占めています。高塩分食、喫煙、ヘリコバクター・ピロリ感染などが胃がん発生のリスクを高めると考えられ、欧米人と比べ日本人に多い疾患です。

胃がん検診の普及や、内視鏡検査の精度向上により、早期胃がんの発見が可能になり、胃がんと診断されても、治療により完治する患者さんが増えています。また初期のがんでは、お腹を切らずに、内視鏡で治療することも可能となっています。

今回は、胃がんの診断、治療法の説明や、最近注目されているヘリコバクター・ピロリ感染との関連などについてわかりやすくお話ししますので、奮ってご参加ください。

記

日時 平成26年1月22日(水) 午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂 (東淀川区豊新2-3-7)

演題 『胃がんを考える』

東淀川区医師会 理事
近藤内科クリニック 院長 近藤 真也 先生

対象者 東淀川区民 (先着40名)

参加ご希望の方は 事前に
東淀川区医師会まで
お電話にてお申込下さい。

☎ 6320-2226

入場は
無料です

主催：東淀川区医師会

